

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7(建産連会館内)
TEL 048(864)0385
URL http://www.saidenkyo.jp/
E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

さいのかがやき 彩の耀

第180号

平成29年7月10日発行

発行人 岡村一巳

編集人 広報委員会

(委員長 市之瀬正靖)

編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

雇用環境の充実目指す 平成29年度定時総会を開催



岡村会長

平成29年度定時総会を5月25日に、さいたま市中央区のホテルブリランテ武蔵野で開催し、全議案を原案どおり承認しました。本年度は会員各社の雇用環境の充実に重点を置き、各種事業に取り組む方針です。

冒頭、岡村会長は「本年度も県費補助による県土づくり担い手確保・育成事業を活用し、会員企業の技術者の資格取得講習会を参加しやすい費用で開催する予定です。昨年末には埼玉労働局の登録教育機関となり、技能講習も含め多くの講習を行います。そのほか新入社員研修、フォローアップ研修、また共催事業として婚活パーティーを開催するなど、引き続き人材確保・育成に努め、離職率を減らすための各種事業に取り組んでまいります」とあいさつしました。

引き続き、共同購買事業で実績を上げた北部支部をたたえ、岡村会長から小林弥寿弘支部長に報奨金が贈られました。

議長には熊田弘信副会長を選出。平成28年度会務報告と収入・支出決算の議案2件、平成29年度事業計画および収入・支出予算、共同購買事業の報告事項3件について審議し、全議案を可決しました。

事業計画では▽会員の声を反映させるため会員増強を行い、会員各社の安定・強靱化を目指す▽業界のイニシアティブを得る▽一般社団法人としての事業内容を研究する一を方針に掲げ、中長期的な目標を立て具体策を探っていきます。

総会終了後は懇親会を開催しました。来賓には須藤喜弘県土整備部副部長、土屋恵一県議会副議長、石渡豊県議会議員、木下高志県議会議員、県住宅供給公社の前田一彦理事長など多数が出席されました。

岡村会長は改めてあいさつに立ち「この地域に根差し運命を共にする私たち協会員、それを支える家族、協力会社の皆さんは、埼玉を愛し、あるいは愛していかねばならない立場の集まりです。どうしたらこの地で幸せに暮らしていけるのかを考え、行政当局の皆さんと共に汗を流していきたいと思っております」と、結束を高め、地域の発展を支える役割を担う重要性を述べました。



本年度の活動内容などを決めた総会

優良従業員表彰では、永年勤続者部門で勤続20年以上19人、勤続10年以上21人と、優秀技術者部門5人の計45人を表彰。代表して(株)市之瀬電設の増田勝行氏、(株)おぎでんの平野なお子氏、埼玉電設(株)の加藤光雄氏の3人に、岡村会長から表彰状が授与されました。栄えある受賞者は次のとおりです。(敬称略)

平成29年度優良従業員表彰受賞者名簿

(永年勤続者部門勤続20年以上) 19名

会員名	被表彰者名
(株)市之瀬電設	増田勝行
内山電設(株)	河西亮
(株)おぎでん	橋本由佳
熊谷電機(株)	小柴安弘
国益電設工事(株)	岸本仁一
佐野電機(株)	藤倉浩二
三位電気(株)	森本伸司
(株)新電気	神谷克己
(株)関根電気商会	土田洋一
相馬電業(株)	工藤直久
(株)大広電気	廣田浩三
(株)積田電業社	菊池昌枝
(株)電成社	秋山敏一
(株)東電工業社	鈴木浩二
(株)中村電気	荻野幹夫
中村電設工業(株)	志茂健一郎
(株)北産電設	小島剛
(株)八洲電業社	大平誠
(株)ヤマト・イズミテクス	金井豊治

(永年勤続者部門勤続10年以上) 21名

会員名	被表彰者名
(株)イーラスト埼玉	内田一好
(株)市之瀬電設	竹内敏明
浦和電気工事(株)	齋藤貴大
(株)岡村電機	谷之口規子
(株)おぎでん	平野なお子
佐野電機(株)	二上興平
三位電気(株)	中島慎一郎
(株)新電気	佐藤久雄
(株)関根電気商会	八木沼定雄
(株)大広電気	佐藤武
高山電設工業(株)	福田龍一
(株)積田電業社	織田芳雄
(株)電成社	新井友子
(株)東電工業社	荒木洋
中村電設工業(株)	萩原清司
那須電機工業(株)	藤澤祐一
(株)万代電気工業	遊馬康平
(株)まつもと電機	小野佑也
(株)明電社	山野辺貴士
(株)八洲電業社	大野貴宏
(株)ヤマト・イズミテクス	石井勝

(優秀技術者部門) 5名

会員名	被表彰者名	対象工事名
内山電設(株)	後藤利行	右岸流域処理場特高受変電建築付帯電気設備改築工事
熊谷電機(株)	芹澤悟	14 熊谷スポーツ文化公園屋内運動施設膜屋根等復旧電気設備工事
(株)栗原電機	栗原裕司	14 児玉白楊高校工業科実習棟電気設備工事(その2)
埼玉電設(株)	加藤光雄	15 埼玉スタジアム2002 スタジアム音響設備更新工事
(株)東電工業社	永井昭彦	15 川の博物館本館棟ほか電気設備改修工事



受賞した優良従業員の皆さん

「彩の輝」に寄せて



神川町長

清水 雅之

一般社団法人埼玉県電業協会の皆様におかれましては、日頃から電気設備産業の適正な運営と健全な発展にご尽力賜り、社会生活の安定と社会福祉の向上にご貢献をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

神川町は、埼玉県の北西部にあり、町の西側を流れる「神流川」を挟んで群馬県藤岡市と接している町です。この神流川の水源は、「城峰神の泉水源の森」として、林野庁の選定した「水源の森百選」に選出されております。この清らかな水を活用し、明治初期から始められた梨の栽培が特に盛んであり、主に幸水、豊水といった品種を栽培しています。毎年梨の旬である8月上旬から9月下旬には、町内に梨の直売所がずらりと立ち並ぶので、皆様も是非お立ち寄りください。

さて、当町では平成30年4月にスタートする「神川町第2次総合計画」の策定など、今後の方向性を定める重要な時期を迎えます。

現在、人口減少や少子高齢化社会など様々な問題が取りざたされ、地方行政を取り巻く環境は、複雑化しております。

このような中、政府が重点施策に掲げる「地方創生」に向け、当町でも地域の特色を生かした地方版総合戦略として、神川町の魅力を更に高める「まち・ひと・しごと創生事業」に取り組んでおります。

また新たな事業として、「認定こども園」の開設を目指しております。これまでも安心して子どもを産み育て、地域みんなで子育てを支えるまちの実現を目指し、次代を担う子どもと子育て家庭への支援を総合的・計画的に推進してきました。そのような中で、子どもたちの教育・保育環境をさらに充実させるため、開設に向けて関係機関と連携し、推進して参ります。

この他にも「新庁舎の建設」を予定しております。現在の庁舎は建設から40年以上が経過

し、様々な問題を抱えているため、平成29年度に着工し、平成30年度の完成を目標としております。

新庁舎建設にあたっては、3つの基本方針を掲げています。1つ目は、町民が集い、誰もが利用しやすいようにユニバーサルデザインの導入です。2つ目は、情報発信ディスプレイやフリーアクセスフロアの導入など高度情報化への対応です。そして3つ目に環境にやさしい庁舎です。屋上階に太陽光パネルを設置し、照明器具には消費電力が少なく長寿命であるLED電球を採用し、その計画から建設、運用、廃棄に至るまでの、ライフサイクルを通じて環境負荷の低減に配慮した庁舎を目指します。

さらに、新庁舎は災害時の防災拠点としての機能をもつ必要があり、災害直後に継続使用できるような高い安全性を備えた施設として非常用電源などの設備を兼ね備えています。

このような重要施策を実施するためには、町民の皆様のご理解が必要です。一昨年から「神川町きらり☆まちづくり懇話会」を開催し、町の施策について町長自ら直接町民の皆様に説明するとともに、広く意見を伺う取り組みを行っております。今後もこのような機会を設け、開かれた町政運営に努めて参りたいと考えております。

これらを踏まえまして、神川町は「小さくても安心して暮らせるまちづくり」の実現に向けて、更なる発展をめざし、課題解決に取り組んで参りますので、引き続き皆様のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、一般社団法人埼玉県電業協会の益々のご発展と、会員皆様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

技術講習会

共通仕様書の改正でポイント確認

第1回技術講習会を開催



4月12日、平成29年度第1回技術講習会を開催しました。参加者は約90人。講師に公共建築協会の石井啓司電気設備技術基準室長と、県土整備部建設管理課の石川詩樹技師（建築技術・積算担当）を招き、電気設備工事の共通仕様書などの改正点について、変更のポイントを重点的に学びました。

開催にあたり岡村会長は「私ども協会としては、仕事量を増やそうと努力をしているわけですが、きょうの講習も大変役に立つ内容となっておりますので、しっかりと勉強していただきたいと思っております」とあいさつしました。

第1部では石井氏が国土交通省大臣官房官庁営繕部

監修の『公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成28年版』『公共建築設備工事標準図（同）同』『公共建築改修工事標準仕様書（同）』の改正点について解説。LED照明器具の普及による修正や、JIS規格の改定・制定、耐震設計・施工指針の改定、技術基準に合わせた見直しなどについて、変更点を詳細に確認しました。

第2部では石川氏が『埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（平成29年版）』の改正点について、前回（平成23年）の改正の内容にも触れながら説明されました。



講師の石井氏



講師の石川氏

技術講習会

暴露防止対策の徹底へ

石綿作業主任者講習開く



6月1日、2日の2日間、石綿作業主任者技能講習を実施しました。講師はケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏と、土戸労働衛生コンサルタント事務所代表の土戸善博氏。受講者は危険から身を守るための知識の習得として、暴露防止対策を徹底して学びました。

初日、小泉氏は、作業主任者の責任の重さなど心構えから話し始め、作業環境の改善方法と保護具に関する知識の習得として、石綿含有製品、建築物の解体時における暴露防止対策、製造段階・取扱作業時の作業

環境管理、呼吸用保護具について解説しました。

2日目は労働安全衛生法、石綿障害予防規則など関係法令を教わりました。また午後からは講師を土戸氏が引き継ぎ、健康障害と予防措置に関する知識を習いました。

土戸氏は医学的な見地から、具体的な症状や病状の経過などを説明され、危険から身を守る対策の徹底を促しました。



建設産業担い手確保・育成事業（県補助事業）受験準備講習会を開催

電気工事施工管理技士

6日コースで集中指導

1級受験準備講習

■1級電気工事施工管理技士

4月19日、26日、5月10日、17日、24日、31日の6日間、1級電気工事施工管理技士学科試験受験準備講習を開催しました。講師はケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏。参加者は試験突破を目指し、カリキュラムに沿った講義や模擬試験に臨み、勉強するポイントについて指導を受けました。

講師を務めた小泉氏は「学科と秋の実地試験の2つの関門を突破して、初めて資格が取れます。試験日を目標にしっかり準備をすれば大丈夫。分からないところは遠慮なく、質問を投げ掛けてください」とあいさつしました。

初日はまず、点数の確保が難しい工程管理の講義から始めました。個別指導に活用するため、前段で模擬試験を行い、実力を把握した上で各自が学習方法を学びました。

2日目以降は、品質・安全管理など施工管理の講義のほか、建設業法・電気事業法・労働安全衛生法など各種法令の出題範囲を確認しました。

同時期に熊谷会場でも6日間コースの講習を実施。協会では講座を毎年開いており、ここ数年、受講者の合格率は学科、実地ともに平均を上回っています。



電気工事士

過去問題解き、傾向探る

第二種受験準備講習

■第二種電気工事士

4月17日、25日、5月9日、16日の4日間コースで、本試験に向けた第二種電気工事士試験受験準備講習会（上期筆記コース）を開催しました。講師はSEED O代表の関根康明氏。参加者した20人全員が合格の栄冠を勝ち取るため、真剣な面持ちで受講していました。

合格を確実なものとするため、講習会では初めて電気を学ぶ人にもわかりやすいよう、出題頻度の高い問題を中心に、効率良く暗記できるポイントが解説されました。

1日目は一般用電気工作物の保安・法令、配線の種類と工事方法などについて学習。2日目は配線図から学ぶ測定器・電気の通り道など、3日目は竣工検査と指示電気計器、配電理論などについて学びました。4日目は単相交流と三相交流・誘導電動機など電気の基礎理論を習い、過去の筆記試験問題を解き、傾向を探りました。

試験を前に、基礎的な知識を身に着ける貴重な機会として、受講者も自覚を持って講習に臨んでいたようです。



職長教育

役割や教育方法など学ぶ

職長・安全衛生責任者教育を実施



5月18日と19日の2日間、職長・安全衛生責任者教育を実施しました。参加者は12人。講師は初日が特定社会保険労務士の浜浩子氏、2日目をケイ・教育企画サポート事務所代表の小泉一夫氏が務めました。参加者はカリキュラムに沿って指導を受け、労働災害防止への関心の保持の重要性などを確認し、受講を修了しました。

今回の対象者は、職長など部下を使って仕事をまとめる立場にある人や、安全衛生責任者です。また、平成18年4月以前に受講しているものの、リスクアセスメント教育を受講修了していない人です。

初日はまず、職長・安全衛生責任者の役割、危険性・有害性の調査と低減措置などについて学び、場面によってはグループに分かれて討議を行いました。

2日目は、指導教育方法のほか、ミーティングや現場巡視など責任者が行う安全施工サイクル、関心の保持と創意工夫を引き出す方法などについて学びました。



講師の浜氏



講師の小泉氏

技術講習会

安全守る技術習得へ

あと施工アンカー講習会を実施



サンコーテクノ(株)の協力を得て、あと施工アンカー講習会を6月8日、建産連研修センターで行いました。講師は同社ファスニング営業本部の井上節夫氏。大久保英木氏と本館彰文氏の2人がアシスタントを務めました。人々が日常の生活で繰り返し使用する、社会資本の安全を守る技術の習得へ、部品のタイプ別に正しい施工方法を学びました。

開催にあたり、代表して大久保氏が「ことしで5回目の開催となります。仕事の品質の確保・向上を狙った講習会となっております。普段の仕事と見比べていただき、もし間違いや認識違いなど気付いた点があれば、きょうから正していただきたいと思います。正確な施工を実践していただければ、アンカー自体は十分な強度を有するものです。注意していただき、アンカーに対する見方を改めていただければ」と、日ごろの作業工程を再確認する必要性を述べました。

この日は梅雨入りした影響による天候不順で、まず

は実技として施工デモから始めました。

場所を駐車場に移し、施工デモでオールアンカー、グリップアンカー、トルコンアンカーなどを実際に取り付け、試験機を用いて強度を確認しました。

座学では、あと施工アンカーの使用例や分類、また金属拡張アンカーと接着アンカーについて、施工時の要点・注意事項などが説明され、下孔の切粉が残らないように、清掃を行うことの重要性が繰り返し伝えられました。

過去の講習で問い合わせが多かった、接着系の標準外施工についても解説。性能に関する事項では、強度算定の考え方の許容荷重について、長期、短期、最大の数値の解釈を確かめました。

なお、施工デモ、座学を終え、協会より修了証が受講者に手渡されました。



屋外での施工デモ

道路清掃で地域貢献

彩の国ロードサポート活動

ことしも各支部で、彩の国ロードサポート活動を行いました。さいたま支部は大宮公園、東部支部は県道幸手久喜線、西部支部は県道川越北環状線、南部支部は県道さいたま草加線、北部支部は県道太田熊谷線で、園内や路上に投棄されたごみや空き缶、タバコの吸殻、雑草などを拾い集めました。

当協会では、県が管理する施設について、行政

との協力により、快適で美しい環境づくりに貢献しています。

公共施設を地域の住民や企業が我が子のように愛情と責任をもって管理し、行政が支援する仕組みは、一般的にアダプト・プログラムと呼ばれています。

会員企業の皆さんの汗を流す姿が多方面から共感を呼んでいます。

ボランティアに協力した各支部の参加者



【さいたま支部】



【東部支部】



【西部支部】



【南部支部】



【北部支部】

東京歴史散歩



瑞穂電設(株)取締役営業部長 田中秀行

日頃、車で動くことが多く、年を増すと歩くことの大切さを感じる今日この頃。数年前より妻と時間を見つけては、都内へ散歩に出掛けております。歴史好きで好奇心旺盛な私としては、京都・奈良は勿論ですが都内で新しい発見ばかり！

先ず皇居東御苑。江戸城本丸があった所で何と無料で入城出来ます。大手門より城内へ各番所を貫ける左右に続く重厚な石垣、道を登り詰ると本丸に。(現在は広場・庭園)本丸御殿や大奥の址で、江戸城天守閣の石垣もあり忠臣蔵の舞台になった「松の廊下」があった場所の表示もされてます。また皇居一周歩いては。二重橋、大老井伊直助が殺害された桜田門、堀に沿って歩くと左に国会議事堂、国立劇場、英国大使館、千鳥ヶ淵を通過して乾門、平川門、気象庁前、大手門から東京駅へ。一時間から一時間半、如何でしょうか。

港区高輪の泉岳寺には、松の廊下事件で吉良邸に討入りし、その後切腹した大石内蔵助を筆頭に赤穂浪士四十七士の墓と遺品等が展示されて、とても身

近に感じられ何度か行きましたが、先日吉良邸は何処にあったか調べたら両国に。駅から歩いて行くと、相撲部屋が数多く稽古中の声が響く町を歩いていると、高安関に遭遇しびっくり。その近くに吉良邸正門跡があり、白堀で囲まれた中には「首洗いの井戸」があり吉良邸や討入りについて掲示あり、その先の公園には、勝海舟生誕の地があり功績・写真等が掲示されている。そして、お寺があり入って見ると、「鼠小僧の墓」があり、またまたびっくり。歩くと楽しい出会いが沢山。

貴方も東京散歩してみては。

追伸 北区西ヶ丘にある旧古河邸の洋館は、室内外ともミステリーな造りで必見。バラ園でも有名。(現在、ダイハツ「BOON」のCMに映る洋館です)



地元企業への入職紹介 浦和工高で業界説明

県立浦和工業高等学校(さいたま市桜区)で5月24日、会員企業3社と、賛助会員のネグロス電工(株)の協力を得て、業界説明を行いました。来春からの就職を目指す電気科3年生の生徒8人に、施工工程や採用状況などを紹介。地元企業への入職サポートに努めました。

ネグロス電工からは市販第三営業部大宮営業所の葦原雅浩所長と堂園和照所長代理が出席。テキストとビデオを使い、特定の建造物を例に、建築工程での電気設備工事の流れについて、使用する工具・材料なども含め、作業手順を解説しました。

協会からは、司会を務めた内山電設(株)の内山祥章代表取締役、(株)市之瀬電設の市之瀬正靖代表取締役、佐野電機(株)の佐野雄一朗代表取締役の3人が参加。それぞれ自社の会社案内とともに、雇用環境などをわかりやすく解説。良いものを顧客に提供し続ける企業の共通テーマなどについて話しました。

当協会が作成した『キャリアルート』も役立ち、

入社した企業で、職務内容とライフプランを考えながら、どのようにキャリアアップを図るべきか、仕事のレベルや取得資格目標などを示しました。

人材育成委員会の内山委員長は閉会にあたり、人々の暮らしの重要な部分を支える仕事で、会員企業も一生懸命に切磋琢磨し合っていることを伝え、「誰からも尊敬されるような技術者になってください」と、エールを送りました。



業界説明で使われたキャリアルート



電気科3年生の生徒8人に業界説明を実施

電業協会今後の【行事予定】

行事内容	日程
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	7月13~15・17日
第一種電気工事士試験準備講習会	8月25日、9月1・8・15・29日
1級電気工事施工管理技術検定試験(実施)準備講習会(熊谷)	9月2・9・16・30日
1級電気工事施工管理技術検定試験(実施)準備講習会(さいたま)	9月6・13・20・27日
災害復旧対策講習会	9月7日か8日

行事内容	日程
新入社員フォローアップ研修	9月26・27日
2級電気工事施工管理技術検定試験準備講習会	10月4・11・18・25日、11月1日
登録電気工事基幹技能者認定講習会	10月28・29日
会員大会(仮称)	11月10・11日
第2回 技術講習会	12月5日か6日

埼玉県電業協会では、毎年2回の技術講習会を行っています。この講習会へは、官公庁の技術職の方へもご通知し、最新の電気設備に関する技術の習得のため、学んでおります。ご興味のある方は、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

協会のうごき

4月

- 12日 第1回技術講習会
- 13日 第1回事故防止対策委員会
- 14日 新年度挨拶回り
第1回広報委員会
- 17日 第1回企業対策委員会
- 18日 第1回協会理事会
- 24日 決算監査
- 28日 第1回人材育成委員会

5月

- 9日 第2回協会理事会
- 15日 第1回総務委員会
- 17日 JECA FAIR 視察会
第1回技術研究委員会
- 24日 浦和工業高校授業「業界説明」
- 25日 第3回協会理事会
平成29年度定時総会
総会懇親会

6月

- 6日 第2回人材育成委員会
- 8日 あと施工アンカー講習会
- 20日 第4回協会理事会

- 21日 「ISO規格解説及び内部監査員要請研修について」講習会
- 29日 第2回広報委員会

建設産業担い手確保・育成事業	
1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(学科コース・熊谷×6回)	4月8・15・22日、5月13・20・27日
1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会(学科コース・さいたま×6回)	4月19・26日、5月10・17・24・31日
第二種電気工事士試験受験準備講習会(筆記コース×4回)	4月17・25日、5月9・16日
平成29年度新入社員研修[ビジネスマナー×2・雇入れ時安全衛生教育×2]	4月4・5・6・7日
フォローアップ研修会	6月27・28日
石綿作業主任者技能講習	6月1・2日

埼玉県認定職業訓練	
職長・安全衛生責任者教育	5月18・19日
低圧電気取扱者特別教育	6月15・16日
高圧・特別高圧電気取扱者特別教育	6月22・23日
消防設備士甲種4類受験準備講習会(全3回)	6月19・26日、7月3日

(一社) 埼玉県電業協会会員 支部長◎ 副支部長○

さいたま支部 (13社)

- 旭電気工業(株)(大宮区)
- 浦和電気工事(株)(南区)
- 大塚電設(株)(浦和区)
- (株)岡村電機(緑区)
- 国益電設工事(株)(南区)
- ◎埼玉電設(株)(中央区)

- 新生電気工事(株)(見沼区)
- 竹内電気(株)(岩槻区)
- (株)積田電業社(浦和区)
- 中村電設工業(株)(岩槻区)
- (株)万代電気工業(桜区)
- 瑞穂電設(株)(北区)
- (株)八洲電業社(北区)

東部支部 (12社)

- (株)内田電気商会(久喜市)
- (株)大久保電気(越谷市)

- (株)三進電気工事(上尾市)
- 島村電業(株)(上尾市)
- (株)新電気(三郷市)
- ◎(株)大広電気(八潮市)
- 太洋電設工業(株)(越谷市)
- (株)高岡電気工業(松伏町)
- ニチデン技術サービス(株)(北本市)
- 野口電気工事(株)(越谷市)
- 深井電気(株)(北本市)
- (株)弓木電設社(白岡市)

西部支部 (19社)

- (株)新井電機(飯能市)
- 飯島電器工事(株)(川越市)
- ◎(株)市之瀬電設(志木市)
- (株)大庭電気商会(川越市)
- (株)岡島電気商会(川越市)
- (株)おぎでん(川越市)
- 熊田電気工事(株)(狭山市)
- (株)三共電気商会(和光市)
- (株)関根電気商会(川越市)
- 相馬電業(株)(和光市)
- (株)電成社(川越市)
- (株)中村電気(新座市)
- 橋電(株)(所沢市)
- (株)橋本電工(所沢市)
- フジヤ電気工事(株)(川越市)
- (株)北産電設(所沢市)
- (株)まつもと電機(和光市)
- (株)明電社(川越市)
- (株)ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

- (株)佐久間電設(川口市)
- 佐野電機(株)(川口市)
- 三位電気(株)(川口市)
- 高山電設工業(株)(川口市)
- (株)田部井電気(川口市)
- 釣谷電機(株)(川口市)
- 那須電機工業(株)(川口市)

北部支部 (15社)

- イーテクノス(株)(熊谷市)
- (株)イートラスト埼玉(行田市)
- (株)エコー(深谷市)
- 共和電機(株)(秩父市)
- ◎熊谷電機(株)(熊谷市)
- (株)栗原電機(深谷市)
- 霜田電気(株)(皆野町)
- 中外電気工業(株)(深谷市)
- (株)東電工業社(熊谷市)
- (株)長井電機(熊谷市)
- (株)沼尻電気工事(深谷市)
- (株)早川電工(鴻巣市)
- 松山電設(株)(東松山市)
- ムサン電機工業(株)(行田市)
- (株)躍進電気(深谷市)

南部支部 (9社)

- ◎(株)内山電設(株)(川口市)
- (株)奥富電気工事(川口市)

[さいたま市]



初期重点教育をバックアップ 新入社員研修を実施

4月4日から7日までの4日間にわたり、平成29年度新入社員研修を建産連研修センターで実施しました。参加者は43人。講師は井島鈴子氏と小泉一夫氏。ビジネスマナーの基本、雇入れ時の安全衛生教育を中心に、指導を受けました。

一企業では難しい初期重点教育をサポート。内容の濃い研修を集中的に行うことで、会員企業に入社したての若手の教育を手助けしています。

岡村会長はあいさつで「協会として、できるだけ早く皆さんに、やりがいのある仕事をしていただけるよう、協力させていただきます」と、参加者を励ました。また人材育成委員会の内山祥章委員長は「協会、会社の皆さんも大いに期待しています」と、エールを送りました。

社会人としての心構えの重要性から、自覚を身に着け、企業で働く意味を理解してもらおうとともに、最低限身に着けなければならないものとして、作業開始時の点検、事故発生など緊急時の応急措置の方法などを学びました。

